

◆国土交通本省の動き◆◆

1. 平成21年度（第3回）地域と連携した川づくりに係る事業の新たな登録等について

国土交通省河川局では、地域の個性やニーズに対応した治水事業の一層の展開を図るため、地域との連携によりハードとソフトを一体的に整備する計画であり、その実現に向けて市区町村の役割が大きい計画について登録等を行い、積極的に推進することとしています。

今後、登録等を受けた計画においては、住民・市町村等と河川管理者で一体となって策定された計画に基づき、まちづくりと一体となった河畔空間の創出や良好な河畔空間創出のための重点的な事業実施等を行うこととなります。

詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/river03_hh_000230.html

2. 「土地取引に有用な土壤汚染情報の提供に関する検討会」とりまとめの公表について

土壤汚染問題に対する社会的関心が高くなっているなかで、土壤汚染地の有効活用を図ることは土地政策上の重要な課題となっています。

国土交通省においては、これまで、土壤汚染地の有効活用に向けて、土壤汚染に係る各種課題の整理等を行ってまいりましたが、平成21年に土壤汚染対策法が改正され、今後土壤汚染に関する情報が増大すると見込まれること等を踏まえ、土地取引に際して有用となる土壤汚染情報を提供することにより土地取引の効率化等を図るため、平成21年11月に「土地取引に有用な土壤汚染情報の提供に関する検討会」を設置し、4回にわたり「土地取引に有用な土壤汚染情報データベース」の構築に向けた検討を行ってまいりました。今般、本検討会において検討した土壤汚染データベースのイメージや構築に向けた課題等を取りまとめ致しましたので、公表致します。

詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/land02_hh_000047.html

3. 雨水浸透施設の整備促進について

雨水浸透施設の整備は、都市型水害等に対応した流出抑制効果とともに、地下水涵養や健全な水循環系の形成などの多面的な効果が期待されています。

この度、雨水浸透施設による流域全体としての流出抑制効果や地下水涵養効果等を簡便に把握する方法や、浸透施設設置区域全体としての能力低減を勘案した浸透能力の設定手法、さらに浸透能力を継続して確保していくための適切な維持管理方法等について、別添のとおり「雨水浸透施設の整備促進に関する手引き(案)」としてとりまとめましたのでお知らせ致します。

今後は、本手引きを活用し、下水道管理者、河川管理者等の関係者が協力した雨水浸透施設の整備促進に努めてまいります。

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/city13_hh_000104.html

4. 「下水道におけるリン資源化の手引き」について

国土交通省下水道部では、昨年度、下水道管理者がリン資源化事業の実施について検討するための手引きをとりまとめることを目的として「下水道におけるリン資源化検討会」を設置し、事業化のあり方について検討を行いました。

この度、検討会での議論を踏まえ、「下水道におけるリン資源化の手引き」をとりまとめましたのでお知らせします。

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/city13_hh_000105.html

5. 6月はまちづくり月間

～主要行事及び国土交通大臣表彰受賞者等の決定について～

住民の積極的な参画のもとに創意と工夫を活かしたまちづくりを推進することを目的として、昭和58年度から毎年6月を「まちづくり月間」と定め、まちづくりについて住民の理解と協力を得るため、都道府県、市町村、関連団体の協力を得て、様々な広報活動や行事の開催等、まちづくりに関する啓発活動を幅広く実施しております。

※ 昭和43年6月15日に現在のまちづくりの根幹となる「新都市計画法」及び「改正建築基準法」が公布されたことから6月としています。

- (1) 期間 : 平成22年6月1日(火)から平成22年6月30日(水)まで
- (2) 主催 : 国土交通省、都道府県、市町村

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/city05_hh_000026.html

◆◆関東地方整備局の動き◆◆

1. 平成22年度関東地方整備局関係予算の概要について

平成22年度関東地方整備局関係予算の概要についてお知らせいたします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000003.html

2. 社会資本整備総合交付金の配分（新規計画分）概要について

各地方公共団体等が新たに作成した社会資本総合整備計画に基づき、同計画の目標を実現するための事業に対し、社会資本整備総合交付金を配分しましたので、その概要についてお知らせいたします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kyoku_00000012.html

3. 関東甲信地方の下水道の状況をとりました

関東甲信地方では、平成21年4月に関東甲信地方下水道中期ビジョンを公表し、12の重点施策に取り組んでいるところです。

このたび、平成20年度末における下水道の整備状況と平成21年度における具体的な取り組み事例についてとりましたのでお知らせします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/park_00000022.html

◆◆地域の動き◆◆

「甘楽町歴史的風致維持向上計画」について

群馬県甘楽町振興課

甘楽町は群馬県の南西部に位置し、東は高崎市、西と北は富岡市、南は熊倉、雲津連山や稲含山系を境に藤岡市と甘楽郡下仁田町と隣接している。



南の標高1,370mの稲含山から北に傾斜し、南部の山間地、中央部の丘陵地（中央平均標高300m）、北部の平坦地（標高115m）と変化に富んでいる。丘陵地は、鐮川段丘になっておりこの土質は、桑畑の適地であり養蚕業を支えた。

町内には、縄文時代後期の粟ノ沢遺跡をはじめ多くの歴史的な文化遺産に恵まれている。

本町の歴史的風致維持向上計画では、町の歴史的風致を五つあげている。300年以上前に開削され、三箇所取水口からまちうちを網

目状に張り巡らし名勝楽山園の園地に注ぐ雄川堰を歴史的価値の高い建造物とし、昭和40年代半ばまで養蚕農家が蚕道具を洗い、現在も生活用水、灌漑用水及び防火用水として利用し住民の生活に溶け込み城下の町並みと一体をなし歴史的な空間を作り、歴史的な建物の趣と雄川堰の水の流れが融合して心が安らぐ空間を形成している風情を「雄川堰とそれにまつわる歴史的風致」と考え詳細に記述した。

「小幡八幡宮例大祭に見る歴史的風致」では、起源が正保年間に遡り小幡藩の守り神であり養蚕の神でもある小幡八幡宮（社殿は町指定重要文化財）を中心に養蚕農家が行う祭礼を歴史的風致とした。



■養蚕農家を巡行する山車



■生活に溶け込む雄川堰

「こんにやくの生産に関わる歴史的風致」では、「石垣畑」により水はけの工夫や二階の蚕室に囲炉裏の火煙を導き、その室内に二列の蚕架（火棚）をつくり、種芋の貯蔵棚として兼用することが開発された「火棚囲い」などの工夫がなされ、江戸期より継承されている生産活動によりこんにやく畑のもたらすまばゆいばかりの緑と農作業風景を歴史的風致とした。



■水はけ改善のために積まれた「石垣畑」



■こんにやく芋の収穫風景

「ちいじがき集落における歴史的風致」については、町の最南端に位置するちいじがき集落（小さな石で作った石垣の意味）では、急傾斜の地形の中で耕作地の確保や土壌流失に対する工夫として農閑期に石垣を幾段にも築いて段々畑を造成してきた。この畑を支える石垣「ちいじがき」を歴史的建造物とし、農業に関わる伝統的行事を歴史的風致とした。



■ 「ちいじがき」集落を巡行する獅子舞の一行「おねり」



■ ちいじがきによる段々畑

「瓦製造に関わる歴史的風致」では、明治4年（1871）に本町に隣接する富岡町（現富岡市）で始まった富岡製糸場建設のために必要とされた瓦40万枚・赤煉瓦117万丁という膨大な需要に応え和魂洋才の産物である製糸工場を2年足らずで完成させ、現在も町の地場産業として受け継がれている「福島瓦」と瓦職人の守り神である笹森稲荷神社の祭礼を歴史的な風致としている。

重点区域は、前述した「雄川堰とそれにまつわる歴史的風致」「小幡八幡宮例大祭に見る歴史的風致」「こんにやくの生産に関わる歴史的風致」が含まれ、名勝楽山園からの借景を含む207haとした。

また今後、重点区域においては、養蚕農家の伝統的建造物群の都市計画決定、景観計画を策定し名勝楽山園の眺望景観の保全のための高さ規制、町独自の屋外広告物条例を制定する区域であり、併せて都市計画の高度地区設定の検討を進め良好な景観の保全につとめる区域としている。

今年度は、さらに本町の個性を磨き高めていくために、重点区域内に数多く残されている歴史的風致形成建造物の指定を進め、併せて名勝楽山園の整備を図ることとしている。